

ICTを活用した家庭学習の手引き

| | |
|--|---|
| <p>「家庭学習」ってなぜ必要？</p> | <p>ICTを学習で使うと？</p> |
| <p>家庭学習には、「自分で学習課題を見つけ、学び続ける力を育てる」自主学習としての側面と、「学習内容の定着を図る」宿題としての側面があります。</p> <p>子どもたちの発達段階に応じて、宿題の取組に加えて、自分に必要な学習内容を考える自主学習を取り入れ、段階的に質や量の充実を図ることが大切です。</p> | <p>ICTには、たくさんの情報を自由に扱ったり、遠く離れた場所の人と情報をやり取りしたりできるなどのよさがあります。</p> <p>特に、課題解決に必要な情報を調べたり、考えを発信したりするなど、子ども一人一人の適性や興味・関心に応じた学習、自分が立てた課題を解決する学習などで効果を発揮します。</p> |



①「課題の設定」の場面

授業での取組
比較できる資料を提示するなどし、子どもたちが自ら課題をもち、計画的に課題解決に取り組むことができるようにします。



家庭学習でも
思いついた解決策を、クラウド上に残しておこう。
解決に向けて、学習活動の計画を立てておこう。




②「情報収集」の場面

授業での取組
情報収集や蓄積の仕方、活用方法を指導し、子どもたちが必要な情報を収集し活用できるようにします。



家庭学習でも
教科書や資料集の内容をクラウド上にまとめておこう。
放課後に地域の人に取材したデータを保存しよう




④「まとめ・表現」の場面

授業での取組
まとめや発表の練習の様子を画像や動画等でクラウド上に蓄積し、子どもたちが自ら振り返ることができるようにします。



家庭学習でも
相手に伝わりやすいように、発表原稿の構成を変えよう。



③「整理・分析」の場面

授業での取組
情報を整理・分析したことをクラウド上に蓄積し、子どもたちが個々の学びを共有できるようにします。



家庭学習でも
〇〇について、〇〇さんに尋ねるために、もう少し調べよう。
〇〇さんの分析の仕方を参考にし、自分のまとめに生かそう。




端末使用上の注意

1. 目を画面から30cm以上離して使う
2. 長時間にわたって継続して画面を見ない
3. 部屋の明るさに合わせて、画面の明るさなどを調整する
4. 時間や学習内容を決めて使う



1・2年生

かていがくしゅうでは、たぶれっとをつかって
こんなことをしてみよう。

こくご

- 1.きょうかしよを おんどくしているところを どう
がで さつえいして ふりかえる。
- 2.たぶれっとで もじにゆうりよくの れんしゅうを
する。

さんすう

- 1.九九のあんしょうを どうがで さつえいして ふ
りかえる。
- 2.どりるぱあくで ならったもんだいを といてみ
る。

そのほかのがくしゅう

- 1.おてほんの どうがをみながら だんすの れんし
ゅうをする。
- 2.いきものの ようすを しゃしんにとって きがつ
いたことを しゃしんに かきこむ。
- 3.けんばんはあもにかの れんしゅうを どうがで
さつえいする。

3・4年生

家庭学習では、タブレットを使ってこんなことをしてみよう。

国語

- 1.スピーチの練習を録画し、ふり返りをもとに繰り返し練習する。
- 2.意味調べをして、自分だけの辞書を作る。

算数

- 1.長さや重さ、かさなど、身近に撮影できるものを集める。
- 2.ドリルパークで習った問題を解く。

その他の学習

- 1.体育の学習中に撮影した映像やお手本の映像を見て、課題を発見したり、繰り返し練習したりする。
- 2.単元の学習内容をタブレットを使ってまとめる。
- 3.リコーダーや鉄棒などの練習の様子を撮影する。
- 4.デジタルカードを使って、県庁所在地をおぼえる。

5・6年生

家庭学習では、タブレットを使ってこんなことをしてみよう。

国語

1. スピーチや調べたことを分かりやすく伝えるためのスライドを作成する。
2. 語句の意味調べや例文づくりを協働で行う。

算数

1. 自分なりの解決方法を解説する動画を作成する。
2. ドリルパークで習った問題を解く。

その他の学習

1. 共同編集を使って、課題に対する情報を共有したり、意見を交流したりする。
2. 教科書に関連するテーマについて、調べたことをまとめる。
3. 月や星の動きを観察して、記録する。
4. 音声入力を使って、英語のスピーチの原稿をつくる。